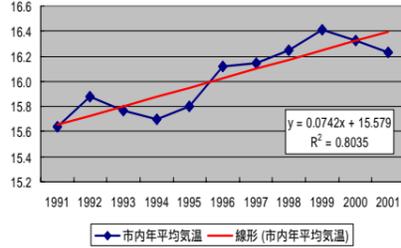


「エコシティたかつ」推進事業 その背景と施策展開の方向性(案)

進む地球温暖化

平均気温の上昇、進む地球温暖化

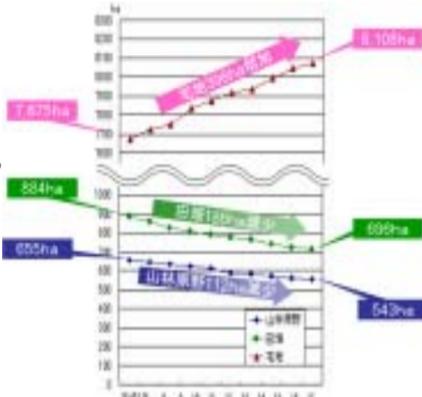
地球温暖化が確実に進行中、本市における平均気温も、この10年で約0.7 上昇している。また、市内の二酸化炭素排出量も1990年の約2280万トンから、2004年の2304万トンと増加。特に民生業務部門と家庭部門の排出量の増加が激しい。市内の排出総量は全国の約1.9%にあたり、市民一人あたりの排出量は全国平均の約1.8倍となっている。



川崎市内平均気温で10年あたり約0.7の割合で上昇

緑の減少、地域の環境資源の減少

現在、区内には市街地内農地が75.8ヘクタール、市街化調整区域内農地が14.1ヘクタールあるが、年々、確実に減少しつつある。また、多摩川水系で23か所、鶴見川水系で83か所の計106の湧水が確認されているが、年々水量が減少するとともに、開発によって消滅する傾向にある。



環境審議会緑と公園部会資料

環境意識の高まりと市民活動の展開

その一方で、市民の環境意識は高まりつつあり、市民健康の森をはじめ、資源リサイクルや新エネルギー導入促進、環境学習など、各地で市民による自発的な活動が展開されている。

今後は、明確な将来ビジョンの共有化、実効性のある施策体系の整備等とともに、それらを踏まえた市民と行政、企業等の協働による実践的な取組を地域から展開することによって、持続可能な循環型都市構造を創造・構築し、地球温暖化防止等に資する「エコシティたかつ」の創出を目指していく。



川崎市カヌー教室

持続可能な地域社会「エコシティたかつ」の創造

既存事務事業等の整理・検証を踏まえた効果的な事業展開

観光立国行動計画、美しい国づくり政策大綱、景観三法、21世紀環境立国戦略「SATOYAMAイニシアティブ」、新・生物多様性国家戦略等、国の政策動向を踏まえつつ、環境基本計画、緑の基本計画、カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略、一般廃棄物処理基本計画、建築物環境配慮推進事業、ヒートアイランド対策推進事業、新エネルギー推進事業、多摩川プラン推進事業、多摩川エコミュージアムプラン推進事業、かわさき里地・里山ミュージアム構想、緑のカーテン大作戦等、市の既存計画・事務事業との施策調整や有機的な連携を図り、市民協働拠点である区の役割や区民会議における調査審議結果を踏まえ、高津区における地域レベルでの効果的な事業展開のスキームの構築を目指す。



協働手法を中心に据えた事業展開

ビオトープ、雨水利用施設の整備を学校、地元町内会、PTA、企業等との協働により進めるなど、事業展開にあたっては、協働による事業手法を中心に据えたものとする。またビオトープの整備等により、地域の生物多様性をより豊かなものにするとともに、環境学習の実践の場とする。



学校ビオトープづくり

多様な媒体を利用した重層的情報受発信・共有

事業の推進には、各主体間の情報の共有や、広く区内事業者や区民に対する事業推進にかかる情報発信、そして、地域情報の受信機能の強化が必要であり、そのために多様な媒体を利用した重層的なシステム構築を目指す。そのため、市政だより区版や区ホームページ等の既存広報媒体の検証とその有効活用、そして新たな手法開発に取り組む。また、啓発型・参加型のイベントを協働開催し、より多様な参加機会の創出を目指す。

推進方針による計画的事業展開

行動マニュアルによる市民・企業の自主的展開



雨水利用

基本戦略となる仮称「エコシティたかつ」推進方針等を市民協働で策定する。また、区民や区内業者向けの具体的な推進行動マニュアルや生活レベルでの実践を広めるための「エコ・エネ読本」を作成し、多様な主体による自主的展開を促進する。

モデル事業の効果的展開による全区展開へ

区役所を「エコシティホール」として、屋上緑化や壁面緑化などの各種環境技術や、省エネルギー機器導入や新エネルギーの導入などを総合的に進め、区役所来庁者への環境学習の一契機とするとともに、区役所として、区内のモデル事業者としての実践を示す。



ゴーヤーの壁面緑化(高津小学校)

「わたまの取組」

2007

高津区区民会議における「環境まちづくり」の調査審議
8月9日学習会「地域からの地球温暖化対策について」
8月24日現地調査「水と緑のネットワークづくり」
記念講演会&エコ・エネ座談会の開催
10月1日「地球温暖化 大丈夫？ 私たちはどうしたら？」
区役所の屋上緑化の実施
溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の策定
「エコシティたかつ」循環型都市構造創造推進事業基礎調査の実施



区役所4階テラス

2008

ゴーヤーによる「緑のカーテン大作戦」の展開
協力世帯の募集 350世帯
講習会の開催 4月23日・24日
種子の一般配布 200セット
公共施設での「緑のカーテン」づくりの実施



目指すべき方向性

地球温暖化問題への対応

～私たちにできること・やるべきこと～

地球温暖化を含め、広く地球環境問題の取組を地域から市民一人ひとりが身近な生活レベルで実践することによって、温暖化対策や地域の環境改善に寄与することを目指す。



新エネルギー

環境まちづくりの協働展開へ

～循環型都市構造創造へのステップ～

流域アプローチの展開や自然共生型の都市再生、農的空間を活かしたまちづくりなど、市民・企業・行政がそれぞれの役割と責任のもと、相互の立場を尊重し、対等な関係に立って協力する協働の手法を中心に



市民による環境学習

事業を展開することによって、より効率的な課題解決を図りつつ、サステイナブルな都市構造の創造を目指す。

区民のエコ・マインドの醸成と豊かなライフスタイルの実現

～エコ・エネって楽しい・おもしろい～

各種事業の推進によって、区民のエコ・マインド(環境を大切に作る心)を育み、エコ・コンシャス(環境志向の高い)なものにしていく。それにより、区民のライフスタイルの变革を促すとともに、地域の身近な水と緑の保全・創出・活用など、多様な環境資源を日常的に活かすことによって、豊かな市民生活の実現と新たな価値創造を目指す。



空から見た高津区を流れる多摩川